

学長室から

竹屋 元裕

## 少子化時代を「キラリと光る教育力」で乗り越える

我が国の少子化は予想を超えて進んでおり、2024年には106万人まで減少した18歳人口が、2035年には100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約82万人にまで減少するという。大学進学者も同様で、2024年には63万人であった大学進学者が2040年には44万人にまで激減すると推計されている。大学進学率を考えると、少子化の影響は地方私立大学においてより深刻である。

この様な中、文科省は「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」を打ち出し、本学では、その中のメニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」（件数45件程度、予算規模1,000万円～2,500万円程度×5年間）に応募していたが、幸いにも、先日、採択の通知が届いた（支援額は未定）。

この経営改革支援では、「未来を支える人材育成機能強化に向けた経営改革を行うこと」となっており、本学では7つの事業、すなわち①看護学科における看護教育の充実（③と関連）と医学検査学科における自治体や企業と連携した教育研究の充実（④と関連）、②リハビリテーション学科における日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの養成、③公衆衛生看護学専攻科の設置と質の高い保健師養成、④社会人向け「細胞検査士コース」の設置、⑤認定看護師教育課程等の定員増、⑥大学院修士課程の定員増、⑦大学院博士課程の新設、を計画している。多くは既に決定済みあるいは想定内の計画であり、これまでの準備状況が評価されて採択に至ったものと思う。学長が実施責任者となっており、全学一丸となって7つの事業を着実に実行していきたい。

## くまもとアートポリス推進賞表彰式

難易度高い改装設計  
居心地よくする工夫

## レストラン「ピリア」に推進賞選賞

第28回「くまもとアートポリス推進賞」の表彰式が1月23日（木）、熊本市中央区の熊本テルサで行われ、レストラン「ピリア」が推進賞に準じる推進選賞に選ばれた本学が表彰を受けました。

表彰式には木下統晴理事長が出席。亀崎直隆副知事から表彰状が手渡されました。

この賞は、熊本県内の優れた建築物などを表彰するもので、「建築デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図る」ことを目指して県が始めたものです。今回は、応募29作品の中から「推進賞」3作品、「推進賞選賞」4作品が選出されました。

ピリアは、もともとスポーツのための空間（体育館）として設計されていた構造物をレストランに改装したもので、設計の難易度が高く、居心地をよくする工夫が凝らされています。審査員からは、違和感なく増築部分がなじんでいることや2階部分に回廊的空間を入れたことで全体のスケール感を抑えている点などが評価されました。

本学は、円形の1号館校舎が第9回で推進賞に選出されており、受賞は2度目です。

(NL編集部)



亀崎副知事（左）から表彰状を受け取る  
木下理事長

# 野菜たっぷり 健康メニュー

## チャンポン、野菜炒め 格安提供

学生や教職員の胃袋を支えるレストラン「ピリア」が1月27日（月）から、野菜をふんだんに使った健康メニューを試験的に提供しています。価格も本学学生（大学院生、別科生、専攻科生含む）に限り通常価格550円が350円となります。

経営企画室によると、この試みは、「健康」を強みとして社会貢献を果たす本学において、多くの学生が日々食べる学食を保健医療系大学にふさわしい健康的なものにし、真に健康的な大学を目指す

そうというものです。経営企画室では「学生たちが若いうちから食を考えるきっかけになれば」としています。

当面のメニューはチャンポンと野菜炒めで、授業日（平日）に提供します。1食200円の差額分は、1日30食を上限に熊本大夢基金の一般寄付にある保護者等からの寄付分を充当します。2月からレストランに設置するデジタルサイネージで得られる収益金も、今回の健康食補助事業に充てる予定です。

（NL編集部）



本学学生に格安で提供されているチャンポン（写真上）と野菜炒め定食

レストラン「ピリア」で試行

### 私の秘話★ ヒストリー



青木 学 教授

医学検査学科

### アメリカの洗礼

2015年1月末、家族と共に渡米することになりました。フライト前日、成田空港近くのホテルで前泊しましたが、翌朝、なんと息子が熱を出していたのです。「これで行かなくて済む」と思ったらしく、得意げな顔をした息子を説得しなんとか搭乗、解熱剤を飲ませながら14時間のフライトにも耐えてくれました（後日談ですが、息子の小学校のクラスはフライト前日からインフルエンザで学級閉鎖になっていたようです）。

ダレス国際空港の外は雪が積もり、冬空特有の灰色でなんとも気分が晴れませんでした。晴れない理由には

他にもう一つあり、入国審査を終え、それぞれにリュックを背負い、加えてスーツケース等10個の大荷物を運んでいると、知らないおじさんに半ば強引に荷物をカートに載せられ、駐車場までの運び賃として25ドルも取られてしまったのでした。

早速のアメリカの洗礼と「ディスカウント」も言えなかった悔しさ（日本人あるある）を経験しアパートに着くと、今度は私が発熱してしまいました。インフルエンザが流行するといつも思い出します。やれやれの中始まった新生活でした。

### インフォメーション

#### 週間行事予定（2月4日～2月10日）

2/4（火）	一般選抜
2/6（木）	修士学位論文公开发表会
2/6（木）	就勝ガイダンス（看護学科）
2/7（金）、10（月）	【オンライン形式】キャリア教育セミナー（看護学科）